

弊社の東日本大震災における活動

弊社 ㈱丸善 ㈱電費半分は 3/11 に東京のビッグサイトにて展示会に出展中に震災に遭遇し、3/12 早朝にやっと埼玉の関東工場まで帰宅出来ました。

東北地区へも多くのお客様がおられますが、特に宮城については、音信普通状態であり危惧しております。

今回の震災に対して、我々は無力かもしれませんが、とりあえず出来る事から始めるということで、お米・毛布等の収集を始め、本日 3/13 に取敢えず第一便を出発させました。

弊社では仲間と協力して義援米の収集を行いました。(2011/3/13)

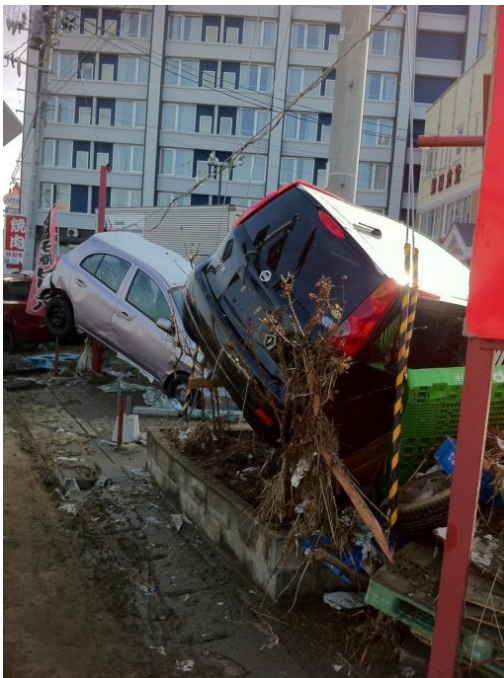
本日夕刻に新潟経由で福島に入りました。



この第一便は 3/13 夜出発し 3/14 早朝五時に仙台近くの新潟市に到着米 3 t (センターの一日分) を届けました。



仙台市の東に位置する多賀城市の様子
ホテルルートイン多賀城
付近 3/14 撮影

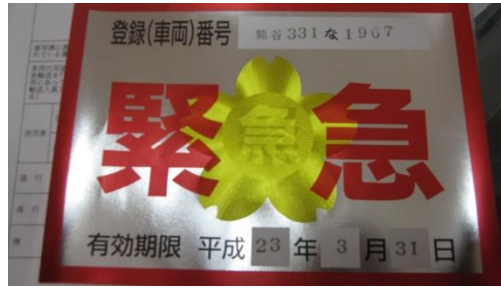


第二便を 3/15 14 時に出発しました。今回はより激甚災害区の石巻にまで効率的に運びたい為、マルハニチロ食品様様の協力を戴きます。水、衣料、毛布、生理用品、オムツ等を宇都宮のセンターまで運びこみ、その先の配送をマルハニチロ様にお願いします。我々が持っている米等の食料品は別便に回しました。



第二便で、宇都宮まで衣類・毛布・水・生理用品・オムツ等持込みました。あまり物資は多くはなかったが、少しでも早く届ける為に出発しました。下の写真は宇都宮近郊の鬼怒川東岸の民家で、屋根の合わせの部分が壊れた家が多数あり、このあたりも相当ゆれたようすでした。

第三便も同じ日の 3/15 夜 10:00 頃出発しました。今回は、ブラジル総領事館の依頼で仙台在住のブラジル人の方を埼玉の避難所に送り届ける事も理由の一つとして緊急輸送の許可証を貰えたので、北関東道（正式には未開通です 3 / 1 9 開通予定でした）から直接東北道に入り仙台で高速から降りるルートを行いました。途中は道路事情で 5 0 k m / h 規制です。今回は仙台のセンターに届けました。（本来の緊急輸送許可証のルートは浦和からのみ入ると聞いていました。） 3 3 人の方を 3 月 1 7 日に連れ帰りました。



関東以北では必要な物資が非常に少なく入手が難しくなっています。また、関西からは東北地区への出荷は受け付けて頂けない状況です。そこで弊社の関東工場を中継地として救援物資を集めています。

第四便、3月18日 14:00に本庄を出発し足利で追加物資を乗せ19時に出発しました。目的地は、女川の総合運動場の体育館で19日3:30に到着しました。その時間から起きている人たちの話を6:00まで-3℃の屋外で薪を囲んで聞いていました。10160人居た町が今は4600人でありこの避難所には2600人が現在生活をしている。今後の生活はどうする等々



ここでの主たる目的の日系ブラジル人の退避の協力ならびに、米を中心とした救援物資の引き渡しをおこないました。ここには物資はかなり入っていました。ただ町の現状は目を覆うばかりのあり様でした。





物資のアンバラスは否めません。女川町では水はあるとの事、しかし食事は9:30のパンと16:30の小さなおにぎりだけだとの事、嗜好品も必要ではないかと実感しました。

町は、中心部の駅舎等壊滅状態でした。

地震の横揺れで倒壊した家は無いが、全て津波でやられたとの事でした。

次に、石巻市内に皆様から戴いた物資を届ける為に入り、石巻中学校にお渡しいたしました。こちらには本当に還る所の無い方600人程度の方が生活されています。教員の方々が滅私で世話をされています。生徒さんもボランティアとして協力されており、市内でも順次片づけが始まっている姿が、明日の復興を確信しました。特に、ガソリンさえ届けば、なんとかなる。ここまでの道路の修理には本当に多くの方が、昼夜の区別なく頑張って作業されています。地震で壊れた箇所は少なく、津波の被害が殆どで、被害区域は限定されています。被災者の明日からの仕事があれば、乗越えられると感じました。皆様が心配している放射能も、日本全国から救援に駆け付けている消防隊の方々は、胸に放射能の測定器を付けていますが「0では無いが全然大丈夫な数値です。」と説明を受けました。(那須高原SAで山口市の隊員に測って貰ったら0.04マイクロシーベルト)



石巻市内の商店街・前方の小山に石巻中があります。ここの物資は少なく非常に感謝して頂きました。下は皆様の物資です。





石巻中の先生と学生



北部仙台道路復旧作業
 ブラジル総領事館 マルセラ・ブラガ領事





今後も、続けて救援物資を被災地に運び込む予定です。

最終は未定ですが、来週一杯3月26日到着（3/25出荷）まで受付させて戴きます。もし、衣服、長靴、日用生活用品、食料（米その他保存が可能なもの）、ミルク等あれば下記までお送り下さい。中国国内では一般的な、乾燥米にお湯を入れれば丼物が出来るインスタント食品、上海大塚・統一等が販売しているものは有効だと思いました。

株丸善 関東工場 白神宛

〒367-0226

埼玉県本庄市児玉町宮内838-6

TEL 0495-73-4401

品名に救援物資と明記して下さい。内容物の品名も必ず記入して下さい。